

JA全農ウィークリー
WEEKLY

2
面

5面

第1回全農杯
全日本小学生カーリング選手権大会を開催

農薬の効率的な広域物流を目指し
中四国広域物流センターが稼働



第1回全農杯 全日本小学生カーリング選手権大会で優勝した「チーム青森キッズ」(5面)



「ゆめファーム全農SAGA」設置で包括連携協定を結んだ秀島敏行佐賀市長㉔と大島信之JAさが組合長㉕、神出元一理事長(2面)



JA全農中四国広域物流センターの出発式で関係者がテープカット(2面)

- 2 佐賀市、JAさがと
「ゆめファーム全農SAGA」設置で
包括連携協定を締結(生産資材部)
- 3 ベトナムで「青森りんご」PRイベント
(青森県本部)
- 北海道中標津町で
「酪農女性サミット2018」開催(酪農部)
- 4 労働力支援の取り組みをセミナーで紹介
(大分県本部)
- 葬儀受付コンテスト全国大会を開催
(生活リテール部)
- 5 「NHK歳末たすけあい」に
寄付金423万円贈る(広報部)
- 6 JAズームイン(JA大阪南)
- 7 県本部だより(富山県本部)

- 8 カフェ&ダイニングみのりみのる
アミュプラザおおいた店がオープン！
(大分県本部)
- 渋川家畜市場のFacebookスタート
(群馬県本部)
- JAタウンショップ紹介
紀の里‘旬’たより(和歌山県JA紀の里)

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

Web
限定

トリアスロン・高橋侑子選手が 東京都本部訪問(東京都本部)

神出理事長が
新春特別番組に出演(広報部)
再放送:BSフジ 1/19(土)AM6:30~

News!



「ゆめファーム全農SAGA」設置で包括連携協定締結

キュウリ大規模多収栽培実証へ佐賀市、JAさがと連携

生産資材部



包括連携協定を結んだ秀島佐賀市長㊦と大島JAさが組合長㊧、神出理事長

施設概要

場所	佐賀市高木瀬町(佐賀市清掃工場隣接地)
施設面積	約1㌥
ハウス型式	ダッチライト型高軒高鉄骨ハウス(軒高5.0㌥)
栽培品目	キュウリ
栽培方式・面積	土耕区(摘心誘引仕立て+養液土耕栽培)47% 養液区(ハイワイヤー仕立て+ロックウール養液栽培)47%
10%目標収量	土耕区=45㌥、養液区=50㌥

この施設は栃木県のトマト栽培施設「ゆめファーム全農とちぎ」、高知県のナス栽培施設「ゆめファーム全農NEXTこうち」に続くプロジェクト3例目となります。

現地で開かれた包括連携協定締結式では、秀島敏行佐賀市長と大島信之JAさが組合長、全農の神出元一理事長が協定書にサインし、今後の連携を確認しました。

ていきます。

全農は、佐賀市にキュウリの大規模多収栽培実証施設「ゆめファーム全農SAGA」を設置(平成31年秋頃稼働予定)します。全農は平成30年12月12日、「ゆめファーム全農SAGA」の円滑な運営のため佐賀市、JAさがと包括連携協定を締結しました。

News!



JA全農中四国広域物流センターが稼働

メーカー・JA・組合員を結ぶ農薬の広域物流拠点を目指す!

肥料農薬部



中四国広域物流センターの出発式で関係者がテープカット(平成30年11月29日)

中四国広域物流センターでは、農薬メーカーのストックポイント(一時保管のための施設)や各県域の在庫を集約し、一元的に在庫を管理します。これにより中四国7県域の需要をまとめて農薬メーカーに一括発注し、工場からの集中配送で同センターに納品します。また、農家組合員やJAからの受注に対し、配

全農は、中四国7県域(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、愛媛)を供給エリアとする農薬の広域物流拠点「JA全農中四国広域物流センター」を岡山市内に設置し、平成30年12月3日から稼働しました。県域を越えた広域物流センターは、平成24年から稼働中の北部九州地区に続き2カ所目となります。



センター内の農家別仕分け・箱詰め作業

送先別の集品作業や農家別の仕分け・箱詰め作業を集中的に行い、効率的に配送します。

全農は、これらの取り組みを通じて、農薬メーカー工場から農家戸配送までの効率的な広域物流体制を目指します。さらに、ブロック域の需要を集約し、スケールメリットによる購買力の強化を目指します。



ベトナムで青森りんごPRイベントを開催

県本部が制作し現地で放送されたテレビ番組をイベント内で放映も

青森県本部



ベトナムの店舗で行った青森りんご試食宣伝



トークショーで青森県での撮影について語るリエウ・ハ・チンさん④

青森県本部経営管理委員会の阿保直延会長は「青森りんごがベトナムへ輸出される4年目となる。ベトナムの皆さまにもっと青森りんごのファンになっていただきたい」

青森県本部は平成30年12月15日からベトナムで2018年産りんごの販売を開始するにあたり、同日、ホーチミン市内のショッピングモールでPRイベントを開催するとともに、取り扱い100店舗で試食宣伝会などを行いました。

青森県本部経営管理委員

い」とあいさつしました。

特設ブースでは、りんごに関するクイズや、フェイスブックなどSNSに拡散した方へのプレゼントなどを実施しました。

このイベントに合わせて青森県本部は青森りんごをテーマとした番組を制作し、現地で全国放送されたほか、Webでも情報を発信。番組に出演したタレントのリエウ・ハ・チンさんによるトークショーも行い、青森県での撮影について語っていただきました。



北海道中標津町で「酪農女性サミット2018」開催

ブースを出展し農協牛乳・11/19-B1ヨーグルトなどアピール

酪農部

女性酪農家が熱く酪農への向き合い方などを論議



北海道の各地や遠くは熊本・沖縄から約240人の女性酪農家や酪農関係者が集まりました。全農は企業ブースを出展し、酪農の理解醸成を図るとともに、酪農資材の案内、農協牛乳・11/19-B1ヨーグルトなどを無料配布し、たくさんの方の参加者に興味を持っていただきました。懇親会では、取引先の中沢

酪農部は平成30年12月5、6日、日本コカ・コーラ(株)と共催し、北海道中標津町で「酪農女性サミット2018」(主催:酪農家を中心とした実行委員会)を開きました。

北海道の各地や遠くは熊本・沖縄から約240人の女性酪農家や酪農関係者が集まりました。乳業のパティシエが登場し、国産乳製品を使ったスイーツを振る舞い、大盛況となりました。

女性の酪農家や獣医師のトークセッション、コンサルタントの講演、ワークショップなどを通じて、女性としての酪農への向き合い方や経営の参画方法などを学び、今後何をすべきかを見直す機会になりました。



全農は出展したブースで酪農資材の案内や農協牛乳・11/19-B1ヨーグルトなどをPR

News!



労働力支援の取り組みをセミナーで紹介

大分県本部の花木課長が新規就農促す全農の取り組み講演

大分県本部

労働力支援の取り組みについて説明する
花木課長



「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。セミナーでは中家徹全中会長のあいさつ、吉川貴盛

『関係人口』から考える地域への多様なかわり方―地域と農業の人づくり―と題するセミナー（時事通信社主催、JA全中協賛）が平成30年11月29日、東京都内で開かれ大分県本部園芸部直販課の花木正夫課長が労働力支援の取り組みについて講演しました。

農林水産大臣の基調講演（ビデオ）の後、テーマに関わる有識者などが講演。地方自治体の職員や農業関係者ら約160人が参加しました。

講演で花木課長は「地方の人口減少を緩やかにし、地方創生を図るには、一直線に専業農家を目指す人でも移住・定住を可能にすることが必要。全農の労働力支援の取り組みは、新規就農へのハードルを下げることにつながる。就農を希望する方に、労働力支援事業に参加してもらい、さまざまな作物の農作業を体験し、迷ってもらう中で、農家になるのに必要なスキルを身に付けながら、経営継承のタイミングを待つことができる」と説明しました。

News!



第3回葬儀受付コンテスト全国大会を開催

最優秀賞に(株)JAセレモニーさかの石川さん

生活リテール部



葬儀受付コンテスト全国大会で最優秀賞の(株)JAセレモニーさかの石川さん(前列中央)ら

県JA・経済連と全農などで行われるJA葬祭事業全国協議会は平成30年11月30日、3回目となる「葬儀受付コンテスト全国大会」を東京・大手町のJAビルで開催しました。

コンテストには、県大会地区大会を通過したJAやJA・県域の子会社から5人の代表が参加し、その中から、(株)JAセレモニーさかの石川晴美さんが最優秀賞を受賞しました。

コンテストでは、ロールプレイング方式で葬家への訪問から葬儀の打ち合わせ、見積書作成までの一連の作法や話法、知識などを総合的に審査します。突然のことで気が動転し、悲しみに暮れる葬家に寄り添い、気配りを忘れずに応対することも重要な審査ポイントとなる。



喪主役から聞き取りする優秀賞の(株)JAグリーンサービスタ花巻の照井恵佳さん
⑤、奥が審査員

最優秀賞の石川さんは講評で、「いたわりの言葉掛けや状況に応じたやさしい言葉遣いと、家族のご希望を適切に聞き取り、提案に生かしている」ことなどが評価されました。2位の優秀賞には岩手県の(株)JAグリーンサービス花巻の照井恵佳さん、3位の優良賞には広島県JA安芸の山崎若子さんが選ばれました。

全農は、今後も協議会活動などを通じて、JA葬祭事業のレベルアップを支援していきます。



第1回全農杯 全日本小学生カーリング選手権大会を開催

全農グループ関連会社の協力で「もぐもぐブース」も設置

広報部



優勝チームに「選べるお肉券(JA全農ミートフーズ(株))」、その他「鶏肉加工品詰め合わせ(全農チキンフーズ(株))」「米はるみ(全農パールライス(株))」「石川佳純カレー(全国農協食品(株))」などを山崎周二専務が贈呈



チビリンピックの冬季大会として開催した第1回全農杯 全日本小学生カーリング選手権大会

この大会は、カーリング競技史上初のメダル獲得や、「そだねー」が流行語大賞に選ばれた平昌オリンピックが開催された年に、チビリンピックの冬季大会として初めて開催しました。日本カーリング協会推薦の8チーム36人の小学生が参加し、熱闘の末に青森県の「チーム青森キッズ」が優勝しました。

「JA全農 チビリンピック2018 第1回全農杯 全日本小学生カーリング選手権大会」が平成30年12月24日、東京都の明治神宮外苑アイススケートリンクで開催されました。



にぎわう「もぐもぐブース」

また、選手の栄養補給のために、イチゴ・ミカン(JA全農青果センター(株))、ゆで卵(JA全農たまご(株))、農協牛乳(協同乳業(株))、お米のミルクとウーロン茶(生活リテール部)などを提供した「もぐもぐブース」を設置しました。

全農はこれからも国産農畜産物を通じ、次世代スポーツ選手を応援します。



「NHK歳末たすけあい」に寄付金贈る

協賛するイベントの売上金など約423万円

広報部

全農は平成30年12月13日、東京都渋谷区のNHK放送センターで、「NHK歳末たすけあい」への寄付金をNHKに贈りました。

全農がこの取り組みを始めたのは平成14年からで、15年以上続いています。

今年度は、協賛する全日本卓球選手権大会などで販売した米やカレーの売上金

の他、各都府県本部が農業祭・特産品のチャリティーループは共存、共栄、共生などが集約された組織。ぜひ有効に使ってもらいたい」と話しました。

販売・直営店舗・職場・事業所などで集めた募金を合わせて約423万円を寄付しました。

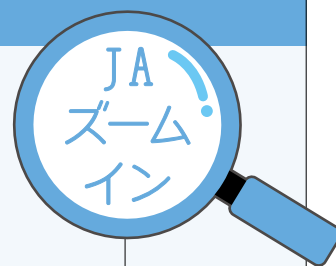


NHKの上田良一会長(左から2人目)に寄付金の目録を手渡す長澤会長(左)とNHK中田裕之理事(左から3人目)、東京都共同募金会の加納高仁常務理事(右)

寄付したイベントの売上金

- 全農杯全日本卓球選手権大会 (ホープ、カブ・バンビの部) (7月27～28日)
- 全日本卓球選手権大会 (カデットの部) (11月2～4日)
- み～んなでキラッとプリティライブ2018 (12月16日)
- 天皇杯・皇后杯平成30年度全日本卓球選手権大会 (平成31年1月19～20日)

※上記の他、各都府県本部が、農業祭・特産品のチャリティーループ・直営店舗・職場・事業所などで募金活動



農産物直売所「あすかてくるで」

大阪産（もん）を発信・PR

販売しています。

JA大阪南は、大阪府の南東部（南河内地域）に位置する都市近郊JAです。

農産物直売所「あすかてくるで」（明日も来ます）羽曳野店」が、2006年にオープン。14年に「あすかてくるで河内長野店」がオープンしました。地産地消と「安全・安心」を合言葉に南河内の四季折々の野菜や果実などを

システム管理を導入 出荷農産物の品質管理

直売所ではシステム管理を導入しており、ポイントカードの活用によるリピーター確保と客層の分析、地域のニーズに合った売り場づくりに取り組んでいます。生産者が記録する防除日誌をシステム連動で管理し、出荷基準に合った農産物だけを出荷しています。果実は、JA職員が試食や糖度計での品質をチェックします。

JA大阪南農産物直売所「あすかてくるで羽曳野店」①と「あすかてくるで河内長野店」

南河内地域は



店舗職員作成のPOPが並ぶぶどう売り場

ぶどうの産地で、現在、JA管内で生産しているぶどうは「デラウェア」「巨峰」「シャインマスカット」など80品種を超え、どれも人気を博しています。

店舗職員が全品種を試食し、特長やセールスポイントなどを記載した手作りPOPを店内に掲示しています。

河内長野店の売り場充実を目指し、TAC担当者が、

JA大阪南（大阪府）



河内長野店への出荷者を対象に、苗や種、球根を無償で提供。ジャンボピーマン、ミニハクサイ、とんがり帽子（極早生キャベツ）、など特長ある野菜を提案し、産地化を進めることで、有利販売に取り組んでいます。

大阪特産「大阪なす」 コンビニから発信

大阪府内のコンビニ・セブンイレブン171店

舗で18年5月

22日～6月11

日、大阪産（も

ん）に登録され

ている「大阪な

す」を使用した

「麻婆茄子丼」を

限定販売しまし

た。商品開発に



好評だった大阪なすの特長を生かした麻婆茄子丼と大阪産シール

あすかてくるで 羽曳野店

大阪府羽曳野市埴生野 975-3
電話：072-957-8318

あすかてくるで 河内長野店

大阪府河内長野市高向 1218-11
電話：0721-52-3733

営業時間：午前9:30～午後6:00
定休日：毎週木曜日、年末年始

概要	平成30年3月31日現在
正組合員数	1万34人
准組合員数	3万1920人
職員数	421人（パートを除く）
販売品取扱高	14億円（ファーマーズ事業除く）
購買品取扱高	11億円
貯金残高	6037億円
長期共済保有高	7989億円
主な農作物	水稲、なす、きゅうり、ぶどう、いちじく、みかん、もも、えびいも

県本部 だより

富山県本部

自己改革 実践中!

富山米の集荷拡大に向け 効率的なフレコン出荷実現へ

集荷・保管・物流拠点として高岡連合倉庫を新設

富山県本部は、富山米の新たな集荷・保管・物流拠点として、高岡市四日市地内に高岡連合倉庫を新設しました。完成した倉庫で平成30年11月7日、竣工式を行い、細田勝二運営委員会会長をはじめ、関係者約30人が出席しました。

収容能力10万俵
フレコン対応の低温倉庫

近年、農作業の省力化・

10万俵が収容できる高岡連合倉庫

細田会長は「近年、新品種による新たな産地間競争に入り、これまでに以上に高品質で良食味な米を生産・販売することが重要となっている。本倉庫を富山米の新たな集荷・保



竣工式であいさつする細田運営委員会会長

効率化のため、フレコンでの出荷が増加しています。が、農業倉庫の老朽化や収容力不足などから、農協の倉庫では、これ以上の受け入れ拡大が困難な状況となっていました。また、中食・外食などの実需者からもフレコン流通や、年間を通して安定した品質での供給が強く求められており、これらの課題に対応したインフラ整備が課題となっていました。

こうした課題解決に向け、新たな集荷・保管・物流の拠点として、鉄骨造り、延べ床面積3686平方メートル、収容能力約10万俵の低温倉庫を建設しました。

集荷数量の拡大と富山米の信頼確保を目指す

新倉庫では、生産者・実需者の利便性向上から、今後もフレコンでの流通が拡大することを想定し、検査場としての十分なスペースを確保するとともに、「温湿度監視システム設備（ライスウォッチマン）」を設

出荷されたフレコン



置し、一層の品質管理徹底を図ります。

富山県本部は、高岡連合倉庫を核としてJAと連携した集荷・保管・物流体制を構築し、富山県JAグループにおける集荷数量の拡大を図るとともに、一年を通して安定した品質で供給することで、富山米の信頼確保に努めていきます。



消費者に
大分県産食材の
魅力伝える“場”

カフェ&ダイニングみのりみのる アミュプラザおおいた店がオープン!

【大分県本部】



初日からにぎわうランチタイム
の「カフェ&ダイニングみのり
みのるアミュプラザおおいた店」



「みのりみのるBOX」。大分県牛・
豚の和風おろしハンバーグと大
分県産鶏の唐あげ(※)と大分県産
イチゴ「ベリーツ」を使ったスー
ツ(期間限定)



大分県本部は平成30年12月11日、直営レストラン「カフェ&ダイ
ニングみのりみのるアミュプラザおおいた店」を大分市のJRおおいた
シティのアミュプラザおおいた1階にオープンしました。

オープン初日のランチタイムは満席となり、店の外にも順番を待つ
お客さまの姿も見られ、大変なにぎわいとなりました。

おすすめのメニューは、2種類のメイン料理が楽しめる「みのりみの
るBOX」。サラダや前菜、茶わん蒸しにグラタンまで付いたお得感
満載の定食です。

店舗のメニューを監修する大分市大在の人気店「hasamahouse」
の狭間一雄氏が、「農家の応援団」として、大分県産食材の魅力
を存分に引き出した料理を
提供します。

今後はマルシェなども開
いて、大分県産食材の魅
力を広く消費者へ発信し
ていきます。

店舗概要

**カフェ&ダイニング
みのりみのるアミュプラザおおいた店**
大分市要町1-14 アミュプラザおおいた1F
電話：097-535-8623
営業時間：10時~22時
定休日：施設定休日に準ずる

群馬県本部が渋川家畜市場のFacebookスタート!

家畜市場としては全農グループ初の試み

群馬県本部



群馬県本部は平成30年11月から、県本部が運営する
渋川家畜市場の公式Facebookページを公開しています。

全農グループが運営する家畜市場としては初めての試み
です。渋川家畜市場への集客力を高めるとともに、一般消
費者へ県内の上州和牛や乳用牛を育てるプロセスを発信し、
地産地消の拡大につなげることを目的としています。

ページ内では、市場開催の告知や市場の様子、市場平
均価格の報告、研修会の様子などをアップしていきます。

群馬県本部の
渋川家畜市場公式Facebookは
こちら➡



JAタウン ショップ紹介

JAタウン |

検索
クリック

紀の里‘旬’たより(和歌山県JA紀の里)



JAタウンは
こちらから



和歌山県産 八朔(約5*・3L、
12~14玉)……3000円

はっさく
「八朔」は和歌山県だけで全国の約6割が生産されています。果実の特
長は引き締まった果肉が口の中でプチプチと弾ける心地良い歯応え、ほどよ
い甘さと酸味、そして他の果実には無い特有の「ほろ苦さ」があります。

出荷時期は1月上旬から春先までと長期間にわたり、1~2月はフレッシ
ュでジューシー、3月以降は酸味がまるやかとなり、お召し上がりいただく
時期によって異なった味わいを楽しめます。

他の果実に比べて特に女性のリピーターが多く、一度食べ始めると止ま
らなくなるといった声も。ぜひ、この機会に和歌山県産の「八朔」をご賞味
下さい。

なお、ご紹介した商品は、2/1(金)まで、FAXでもご注文を承ります(ご自宅宛代金引換のみ)。
※天候などによりご希望に沿えない場合があります。

【ご注文方法】①商品名、規格、数量②郵便番号③住所④氏名⑤電話番号⑥FAX番号をご記入の
うえ、FAX番号03-5218-2517までご送信ください。
商品代金の他、お届け先により送料がかかります。

JA全農のインターネット ▶ご注文は <http://www.ja-town.com>
ショッピングモール ▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報、商品等の発送にのみ使用します。